

今週のお祈り 顕現後第4主日特禱

神よ、あなたはみ子を世に現して、悪魔の業を滅ぼし、わたしたちを神の子、永遠の命を継ぐ者としてくださいました。どうかこの希望によって自らを清く保ち、み子が栄光とみ力をもって再び来られる時、み姿に似る者とならせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 尼ちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 286

発行日  
2026年  
2月1日

1/25(今年は1/26)は「使徒聖パウロ回心日」でした。教会の名前であるパウロ。彼は熱心なユダヤ教徒でキリスト者を迫害していましたが、復活のイエス様と出会い心を反転し熱心なキリスト伝道者となりました。

今週の聖書 マタイによる福音書 5:1-12

1 イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが御もとにきた。2 そこで、イエスは口を開き、彼らに教えられた。  
3 「心の貧しい人々は、幸いである天の国はその人たちのものである。  
4 悲しむ人々は、幸いである／その人たちは慰められる。  
5 へりくだった人々は、幸いである／その人たちは地を受け継ぐ。  
6 義に飢え渇く人々は、幸いである／その人たちは満たされる。  
7 憐れみ深い人々は、幸いである／その人たちは憐れみを受ける。  
8 心の清い人々は、幸いである／その人たちは神を見る。  
9 平和を造る人々は、幸いである／その人たちは神の子と呼ばれる。  
10 義のために迫害された人々は、幸いである／天の国はその人たちのものである。



聖書からのメッセージ

司祭 橋本 克也

イエスさまの声を聞きながら生きることは、ことに戸惑い迷うときの大切な生き方です。今日の、「山上の説教」と呼ばれるマタイ福音書5章から7章は、『イエスは口を開き、彼らに教えられた。「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」と語られて私たちはとても考えさせられます。そして7章には、『だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。』と教えておられます。「難しいな」と思うこともあります。でも、どんな人をもいっつも、愛され迎えられるイエスさまの優しい暖かなみ言葉なのです。

11 私のために、人々があなたがたを罵り、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いである。12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。』